

最上位目標 「子どもの Well-being の実現」

学校教育目標 「心豊かに、自他を高め、章を成す」

～変化に向き合い、信頼される優しさを持ち、社会に貢献する～



# SEISHO PRESS

Trying for your dreams

佐賀市立成章中学校

学校だより 第7号

令和8年6月11日

文責 校長 馬郡直樹

生徒総会  
開催

## さらに生徒が主役の学校へ！

6月5日(金)に、よりよい成章中での生活を「自分たち」でつくっていくことを目指して、全校生徒が体育館に集まり、生徒総会が開かれました。生徒総会が開催されました。緊張しながらも、きちんとした言葉遣いで、堂々と提案や質疑応答を行う姿、また、仲間の発言にじっと耳を傾ける姿からは、成章中を生徒自身の手でよりよくしたいという強い思いと、頼もしさが感じられました。

画像については、配布した学校だよりでご確認ください。

総会に向けて、生徒会役員が熟考し、長い時間を

生徒総会の様子=6月5日 @本校体育館

けて準備をし、また、その提案が実行できることをイメージして、各学級でしっかりと考え、意見を出し合いました。これらがあったからこそ、一人一人が改めて成章中生徒会の一員であることを自覚し、成章中の今を、そして未来を一緒に考える大切な日になったと思います。

生徒総会の冒頭に生徒会長の さんが「生徒会役員だけでなく、生徒全員で積み上げていきたい。学校をよりよくするためにたくさん意見を出して、みんなで考えてみんなで頑張っていきたい。」と力強く挨拶をしてくれました。体育大会で、まとまることの大切さや楽しさ、そこから生まれるパワーを実感した生徒たち。これから行っていく生徒会活動でも、みんなの一步を大切にしながら取り組むことで、さらにまとめ、楽しみながら学校生活の質を高めることができると期待しています。

後日、生徒会副会長の さんに生徒総会の感想を尋ねたところ、「みんなが静かに聞いてくれたので進行しやすかった。今後は出た意見を参考にしつつ、積極的に活動に取り組み、**明るく元気な成章中**を目指したい。」と笑顔で答えてくれました。

「百折不撓 ～We are ready～」という、とても力強く、とても素敵な生徒会スローガンのもと、これからも生徒会活動が発展し、さらに生徒が主体となって学校を動かすことができる成章中に成長していくことをとても楽しみにしています。

制服の在り方について検討を始めました。

成章中学校では、多様性の尊重や人権への配慮、近年の酷暑への対策として、制服の在り方について検討を始めました。

現在、職員やSSCを中心に来年度の新入学生（現小学6年生）から夏服を「ポロシャツ」へ変更することを検討中です。今後は実際に着用する生徒たちの意見や希望をデザインや色などに反映させながら、決定していきます。また、夏服の決定後、再来年度の新入学生（現小学5年生）の冬服や合服についても順次検討を重ねてまいります。大切な生徒たちの学校生活に関わる事項ですので、今後の進捗については、随時 SEISHO PRESS 等でお知らせしていきます。

## 全校朝会 開催

# 自分らしく生きることができる社会を!

6月9日(火)に全校朝会を開催しました。6月29日からの1週間は成章中学校における人権週間であり、生徒は人権についてより深く学ぶ機会となります。この機会に校長からも人権について話を行いました。以下概要です。

横断歩道で「ピピッ」という音を、また公共施設で「ポーン」という音を聞いたことがあると思う。正門付近ではこれらの音を聞くことができる。私たちは普段、何気なく聞いている音でも、目の不自由な方が安全に生活するための大切な案内であり、安心して生活するための道標となっている。

私は普段から人権と命が一番大切であると思っており、この機会に人権について考えてほしい。人権とは、「一人一人が大切にされ、自分らしく生きることができる権利」である。誰もが「生まれて来てよかった」と思えるように、人権が大切にされればと思っている。今日は、「目の不自由な方への配慮」について一緒に考えたい。

成章中学校の周辺には、福祉に関わる施設がある。「佐賀県立視覚障害者情報・交流センター」と「佐賀県福祉会館」。交流センターは、視覚に障害がある人に対して、点字図書や録音図書を提供するなど目の不自由な方が安心して学び、生活できるよう支える施設である。また福祉会館は、福祉に関わるさまざまな団体が活動し、誰もが安心して暮らせる地域づくりを支えている。このように成章中の近くには、人を支える施設があり、これはとても意義深いことだと思う。

また、学校周辺や社会の中には、点字ブロックなどみんなが安心して暮らせるよう、たくさんの工夫がある。正門前の信号で自転車を停めるときは、点字ブロックを踏まないようにしていると思う。もし点字ブロックの上に自転車や荷物が置かれていたら、目の不自由な方にとっては、大きな危険につながる。大切なのは、普段からその立場だったらどう感じるかを想像しながら生活すること。一人一人の小さな行動が、誰かの、ひいてはみんなの安心につながる。

人権とは、特別なことではない。相手を思いやり、相手が安心できるように行動すること。成章中学校が、誰にとっても安心できる学校であり、互いを大切にできる学校であってほしいと思う。そして、みんなで、「どんな人も自分らしく生きることができる社会」「誰一人取り残さない社会」をつかっていこう。そのために、あなたには何ができるか考えてほしい。

### ◆◆ フリー参観デー開催。ご参観ありがとうございました。 ◆◆

6月7日(日)にフリー参観デーを開催しました。多くの保護者や地域の方々にご来校いただき、生徒への温かい応援をありがとうございました。

今年は成章中学校創立80周年という記念すべき節目の年です。これをお祝いし、SSC主催による「流鏝馬(やぶさめ)とふれあい体験」という素晴らしい記念行事を開催することができました。伝統に触れ、目を輝かせる生徒の姿や、的を射抜いた時の歓声がとても印象的でした。

当日は雨の心配もありましたが、企画から運営まで多大な尽力をいただいたSSCの皆様、そして共に節目を祝ってくださった地域の皆様から感謝申し上げます。何よりみなさんと80周年の年に成章中学校で共に過ごせることを大変嬉しく思います。出会いに感謝!

画像については、配布した学校だよりでご確認ください。

流鏝馬の様子=6月7日@運動場